

「堂々川；人も自然も生きている II」

2023（令和5）年3月25日 堂々川ホテル同好会情報誌 2022年度第9号（創刊215号）

1. 会員数が大幅に増えています。今回新入会の内4名が参加されました。初々しいと言っても60歳代で合計23人が参加はされました。女性会員が増えています。
2. 今回から作業開始に集合写真、終わりは全員10時30分集合、反省と対応を協議。

今回も猪被害が多く、6番砂留下方道路寄りと5番砂留下方斜面が前日の夜掘られたようです。河川内の草刈りは鳶が迫砂留下方と1番砂留周辺を主力の作業としています。有志が定例会以外の日に2番砂留周辺の岩盤が見える場の草刈り、木の伐採をされました。猪は道路寄り西側の山から下りてきているようです。獣道が沢山あります。猪対策として電気柵を1km以上設置しています。夜間には通電しています。1万Vの電気が流れています。触るとピリッと電気がきます。**危険触らないで！**

3. 目で見える事例



会長挨拶



ゴミ捨て対策福山市さん駐禁



5番下斜面猪が荒らした場補修



百働会跡の桜周辺草刈り



猪防御の灰を散布



啓蒙看板設置



電柵電源



鳶が迫谷の草刈り



猪1頭捕獲された

4. 次回定例会

4月16日（日曜日）集合場所 1番砂留 8:30~10:30

作業内容：猪被害場所の修復 砂留整備 迫山橋下流川の両岸斜面のごみ拾い

5. 発行責任者 堂々川ホテル同好会 会長 中山晋一

6. 会の活動を行う為保険に入ります。参加される4月13日午前中には参加の連絡をお願いします。ラインが会の連絡網です。調整さんに参加の有無を入れてください。

「前年の活動は一般財団法人セブン・イレブン記念財団殿の助成を受けて実施しました。」



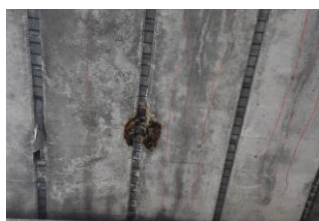
セブン・イレブン
記念財団

会の活動名「ホタルと花と砂留と」

私たちの活動テーマはホタル（環境保全のシンボル）彼岸花（不法投棄防止の対策）砂留（下流の人々の安全を担保）ですが今回の話しは不法投棄のごみ拾いです。我々が管理する7基の砂留は日本登録有形文化財に登録されている砂防堰堤です。ごみもなく、草や小木がほとんど生えていない砂留群と自慢できますが、新迫山橋と県道御領新市線迄の200mは橋の下側に大きなスズメバチの巣があったことから夏以降ごみを拾っていません。1月の定例会で気が付き川の中に入り5回ほどごみを拾いました。なんと200mの間に45リットルポリ袋11も拾いました。弁当の空き容器、ペットボトル、コーヒー缶、漬物のぬか床などです。警察や市などに駐禁にして欲しいと要望しましたがだめでした。川の兩岸斜面にはまだたくさん残っています。雑木が生えているが松岡県議さんが切ると言われています。雑木が多く川の中が見えないので捨てるのでしょうか道路の幅が広い所には黄色と赤の袋を6つ（前の頁）置いて、駐車できなくして貰いました。福山市さんの対応は早かったし、神辺交番の動きも早いですが・・・

会員は少しでもプラごみを海まで流れないように努力しているのに倉敷NO、行商の車よ！捨てるのをやめてくれ！！

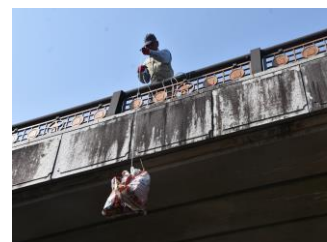
◎ 堂々川新迫山橋下方のごみ拾い奮戦記



スズメバチの巣があり



3月になりごみの川に入る



ゴミを釣り上げる



昼弁当食べて容器ポイ捨て



拾い上げたごみ類2回目



コンクリート片もあり



分別作業



別の日のごみの引き上げ
引き上げの時腰を痛めた人がいる



ついに交番へ駆け込み

私たちボランティア団体の活動は創立から19年、福山の新しい観光地に育てました。